



logy

(第3種郵便物認可)

アナログ技術で産業振興

技術者OB中心にNPO

地域発のアナログ技術を世界へ。群馬県はアナログ技術による産業振興を加速する。今月、技術者OBを中心とした民間非営利団体(NPO)法人が発足。NPO活用により、中小企業を含むアナログ関連技術者の人材育成や技術者が不足しているアナログ分野での人的補完を推進する。同時に、大学や公設試験場との連携強化で研究開発の基盤構築を進め、国家プロジェクトへの参画も視野に入れる。産学官連携を通じて総力を結集し、アナログ技術の世界的拠点・群馬の実現を目指す。

NPO法人「アナログ技術ネットワーク」(ATN、堀江昇理事長)は日立高崎(現ルネサス)の技術者OBのほか、大学教授やコンサルタントで構成される。技術コンサルタントや人材教育、技術情報の積極公開

群馬県、産学官の総力結集

などを通じて地域でのアナログ技術の振興、発展を図ることを理念としている。

群馬県は現在、アナログ技術などの特定分野の産業集積を目指した「星雲クラスター事業」を展開しており、設立したNPOとの連携で域内の機運醸成を狙う。まず、アナログ技術に関心のある中小企業向けに、今年度中に県内2カ所で技術研修会を開く。NPOに事業を委託し、ノウハウ提供や技術強化を促し、技術レベルの底上げを推進する。

今後は群馬県に所在するアナログ関連企業とのネットワークを深め、事業の方向性をより明確化していく。デジタル化の流れのなかで、重要性を増してきたアナログ技術を地域で掘り起こし、世界に誇る集積地の実現を目指していく。

中小向け 研究会開催 人材の育成など推進